

ブックル

だより

No. 152 2017. 1. 2月号



「広島市子どもの読書活動推進計画(第三次)」に基づき様々な事業に取り組んでいます。家庭で一日5分絵本の読み聞かせをしましょう。

ほん こんな本いかが？～あたりくほいた本から～

～幼児から～

E **933** **『パンタロンとケーキやさん』**

キャサリン・ジャクソン 文、レナード・ワイスガード 絵
こみや ゆう やく 好学社

プードルのパンタロンは、ベーカーさんのお店のケーキが大好き。ある日、「おてつだいぼしゅう！」と書いてある看板を見て、手伝いたいとベーカーさんに伝えますが……。

EK **『まよなかのせんろ』**

鎌田 歩 著 アリス館



～低学年から～

E **933** **『人形の家に住んでいたネズミ一家のおはなし』**

マイケル・ポンド 文、エミリー・サットン 絵
早川 あつこ やく 徳間書店

お屋敷にある人形の家で暮らす、15匹のネズミ一家。ある日、みすばらしく見えてきた人形の家をきれいにしようと、子ネズミたちがそうじを始めますが……。



913 **『サバナのいちにち』**

斎藤 ひろし 著、たかばたけ 純 絵 講談社

～中学年から～

E **990** **『オンネリとアンネリのふゆ』**

マリヤッタ・クレンニエミ 文、マイヤ・カルマ 絵
わたなべ みどり やく 福音館書店

二人で暮らすオンネリとアンネリのお家に、人形のように小さな家族が前の住人の薔薇乃木夫人をたずねてきました。ショーララと名乗る彼らは、悪い人間につけられていて……。

290 **『リヤカーマンって知ってるかい？』**

ながせ ただし 著、しゃん ぶん 少年写真新聞社
永瀬 忠志 写真と文

～高学年から～

933 **『クリスマスとよばれた男の子』**

マット・ヘイグ 文、クリス・モルド 絵
杉本 詠美 訳 西村書店



11歳のニコラスは、きこりの父ちゃんと暮らしていた。家は貧しく、今までにもらったクリスマスプレゼントは、木のそりとカブで作った人形の2つだけだった。

440 **『太陽系のふしぎ109』**

永田 美絵 著、八坂 康麿 ほか 写真 偕成社

～中学生から～

933 **『青空のかけら』**

S・E・デュラント 著
杉田 七重 訳 鈴木出版



身寄りのないミラとザックの姉弟は、児童養護施設で暮らし始める。ある夏、二人はマーサという老婦人の家にホームステイすることになる。

933 **『スピニー通りの秘密の絵』**

L・M・フィッツジェラルド 著
千葉 茂樹 訳 あすなる書房

ほんだいすきクイズ

子ども図書館では毎月、絵本からクイズを出しているよ。今回は展示テーマ「とりどりなトリ」からのクイズだよ。

Q. うずらちゃんとひよこちゃんが、おばけだとおもった大きなかげは、だれだったでしょう？



E **『うずらちゃんのかくれんぼ』**
きもと ももこ さく (福音館書店)

をよんでみてね！ 本は図書館にあるよ。こたえはつぎのブックルだよ。

11. 12月号のこたえ：「あかいくるま」

ひろしまし としょかん
広島市子ども図書館 発行
〒730-0011 広島市中区基町5-83 TEL.082-221-6755
<http://www.library.city.hiroshima.jp/kodomo/>



としょかん しごと たいけん こども図書館の仕事を体験しました!



しょくぱ たいけん がくしゅう 職場体験学習

こども図書館では、毎年、中学生の職場体験学習を受け入れています。こども図書館の様々な仕事を体験した生徒さんの感想です。

うしたちゅうがく ねん じょし
(牛田 中学3年 女子)

ほんを並べたり、オススメ本紹介を書くのが楽しかった。

ひろしまちゅうとうきょうういがく ねん じょし
(広島中等教育学2年 女子)

予約本を本棚から探すのがしんどかった。



くちたちゅうがく ねん だんし
(口田 中学2年 男子)

図書館の仕事は思っているよりも大変で、やりがいのある仕事だった。

こくだいじちゅうがく ねん じょし
(国泰寺 中学3年 女子)

小さい子(保育園児)が来た時、楽しかった。

インターンシップ

インターンシップとは、大学生が、将来社会で働くための、会社や施設の仕事を体験することです。実習生に感想を書いてもらいました。

やすだじょしだいがく ねん
(安田女子大学 3年)

基本的な貸出、返却、配架はもちろんですが、季節の絵本を集めたり、図書館招待やおはなし会の見学もさせて頂けたので、将来のことを考えるうえでとても貴重な経験になりました。



ぶんきょうじょしだいがく ねん
(文教女子大学 2年)

カウンター業務や本の配架の他にも、こども図書館が行っているイベントの見学もさせていただき、図書館のいろいろな面を知ることができました。将来は図書館司書を自指しているので、様々な業務を体験できたことはとても良い経験となりました。

ほんよ テーマで本を読んでみよう!

ふゆ
「冬のふしぎ」(低学年から)

きむ 寒い冬にあらわれるこんなものたち、

みたことありますか?



E ミュ 『みえないさんぽ』
ゲルダ・ミュラー 作 (評論社)

EK ちよ 『ふゆめがっしょうだん』
とみなり 富成 忠夫 写真 茂木 透 写真
ちやう 長 新太 文 (福音館書店)

EK いじ 『しもばしら』
ほそしま 細島 まさよ 写真 伊地知 英信 文
(岩崎書店)



りようしゃ かた 利用者の方からの しつもん こた 質問にお答えします!



Q. 子どもが気に入っている絵本があり、その絵本ばかり読んでとせがまれます。色々な絵本に触れさせたいのですが、どうすればよいでしょうか。

A. お気に入りの絵本は、ぜひ何度でも読んであげてください。子どもは読んでもらうたびに新しい発見をしているのかもしれませんが、また、次はこうなると分かっている、そのとおりになるのも子どもにとっては嬉しいことです。とはいえ、いろいろな絵本に触れさせたいのも親心。違う絵本を読んであげたい時は、お気に入りの絵本を読んであげた後で、「次はこの絵本を読んでみようか」などと誘ってあげてもよいでしょう。